

# 小児用肺炎球菌予防接種説明書 (細菌性髄膜炎を予防するワクチンです)

## ●対象者：

# 生後 2 か月～5 歳の誕生日の前日まで

## ●接種回数と接種間隔 (接種開始時の月齢で、接種回数が異なります。)

接種開始時期	接種回数	接種間隔
生後 2 か月の誕生日～ 7 か月に至るまでの間に 開始	4 回	① <u>初回：4 週間以上の間隔をあけて 2 歳までに 3 回接種</u> (2 回目の接種が 1 歳を超えた場合は、3 回目は接種せず 60 日以上あけて追加を 1 回行う。) ② <u>追加：3 回目の接種後 60 日以上あけて 1 歳以降に 1 回接種</u> (標準として生後 12 か月～15 か月の間に行う。)
生後 7 か月の誕生日～ 1 歳に至るまでの間に 開始	3 回	① <u>初回：4 週間以上の間隔をあけて 2 歳までに 2 回接種</u> (2 回目の接種が 2 歳を超える場合、2 回目は接種せず 1 回目から 60 日以上あけて追加を 1 回行う。) ② <u>追加：2 回目の接種後 60 日以上あけて、1 歳以降に 1 回接種</u> (標準として生後 12 か月～15 か月の間に行う。)
1 歳の誕生日～2 歳に至る までの間に開始	2 回	① 60 日以上の間隔で 2 回接種
2 歳の誕生日～5 歳に至る までの間に開始	1 回	① 1 回接種

※ 4 週間以上の解釈：4 週間後の同じ曜日から接種できます。

## ●接種不相当者・要注意者

ジフテリアトキソイドによってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方、又はその恐れのある方

## ●副反応

副反応として、注射部位の赤み・腫れ・痛み、発熱などがあります。まれにショックやアナフィラキシーをおこすことがあります。気になる症状がある場合は医師にご相談ください。

## ●小児用肺炎球菌ワクチンとは？

小児用肺炎球菌ワクチンは、免疫が未熟な乳幼児でも抗体がつくように作られており 13 種類の血清型に効果があります。令和 6 年 4 月から、15 価ワクチンも定期接種の対象となります。肺炎球菌は、乳幼児の上気道に感染後、細菌性髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な全身感染症や中耳炎、副鼻腔炎など気道感染症を起こす原因になっています。

